

令和4年度 第1期 公益活動げんき応援事業助成金 採択事業一覧

新規

<課題解決コース30万円> 採択件数：2件 交付予定額合計：592（千円）

No	団体名	事業名	事業内容	事業費 総額（円）	交付予定 額（円）
1	一般社団法人 あだち子ども 支援ネット	あだちヤング ケアラー Lab	ヤングケアラーの現状把握を手掛け、区民へ伝え、支援の在り方と検討していくために、啓発としての講演会準備会を実施、実態に即した支援提供のためにヤングケアラーの理解を深める。月に1回講演会に向けた準備会を実施し、年2回講演会を実施する。区民には報告書を作成し、配布することで、ヤングケアラーの存在に対する理解を深めるための啓発活動を実施する。	390,000	292,000
2	スマイルリンク	ロボチャレ De スマイル	足立区では1人1台タブレット端末が配布されているが、自宅にインターネット環境がないなどの理由で、学校の授業以外で、ICT教育を実践する場所が乏しいのが現状。授業以外の場所で、ICTに触れる環境を作り、柔軟な発想で遊びながらプログラミング的思考を鍛える。多世代が触れ合う場所を作ることにより、触れたことのない価値観、考えた、文化や慣習の違いを体験し、情緒豊かな気持ちを育む。	413,331	300,000

# 令和4年度 第1期 公益活動げんき応援事業助成金 採択事業一覧

<ステップアップコース60万円> 採択件数：5件 交付予定額合計：2,771（千円）

No	団体名	事業名	事業内容	事業費 総額（円）	交付予定 額（円）
1	特定非営利活動法人ピースプロジェクト	「西新井地区における誰でも参加できるピース食堂」	西新井地区で誰でも参加できる「ピース食堂」を開設し、「ふれあいと寄り添いのある子ども食堂」でバランスの取れた食事を提供する他「キックボクシング体験」「マジックショー」等のイベントを常に併設することで子ども食堂＝貧困家庭の利用のイメージを払拭し、長期に継続した活動を実施することで、様々な事情を持つ家庭の子どもたちの見守り場所として定着を図る。	1,773,620	600,000
2	一般社団法人ほしかぜ	オンライン盆踊り大会2022	コロナ禍で子どもたちが気軽に日本文化を体験できる機会が奪われる状況が続いている。さらに地域一丸となって取り組むイベントがないため、人と関わりを持つ状況も失われている。準備段階から区民が参加できる仕組みをつくることで、皆で盛り上げる盆踊り大会を目指す。特に貧困家庭や不登校の子ども、外出が難しい高齢者に視聴してもらうよう注力する。	986,896	600,000
3	育てよう！いのちの根っこ	小・中学生に届けるいのちの誕生授業	小・中学生にいのちの誕生授業として、誕生学・妊婦体験・赤ちゃん人形抱っこ体験を実施。性の健康を守り、プライベートゾーンなど自分の体を大切に作る動機付けをする。体験を通して、自尊心の向上、自他の生命を尊重する姿勢をはぐくむ。	609,868	371,000
4	特定非営利活動法人アフォーラ	にしいこう子どもひろばを中心とした持続可能な運営体制づくり(スタッフと寄付)	「すべての子どもの自立を応援する」ため、多様な場（日常的な体験遊び場、大学生によるイベント、子育て講座）の運営と、運営体制強化（スタッフ研修、資金調達）により、子どもを応援する人を増やし続けるコミュニティをつくる。	793,900	600,000

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額（円）	交付予定 額（円）
5	CorderDojo 足立	ICT 人材育 成事業	GIGA スクール構想の目標でもある ICT 人材育成は、地域で育成した ICT 人材が地域創生の担い手となるため、足立区においても重要課題である。足立区の中高大専門学生に対し、身の回りにある問題に対する気付きを与え、アプリ開発によりこれを解決する講座を無償で受講してもらうことで、前期の学校教育を保管・支援し、地域創生を担う ICT 人材を育成する。	656,500	600,000

# 令和4年度 第1期 公益活動げんき応援事業助成金 採択事業一覧

<げんき応援コース 10万円> 採択件数：17件 交付予定額：1,696円（千円）

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額（円）	交付予定 額（円）
1	千住フードパントリー	フードパントリー	突発的な経済的理由等により困窮し、食べることに困る人が地域の中にいる。経済的に厳しく困っているかたへ食品を無償で提供することで、安心して地域の中で暮らせ、困ったときには相談できる地域の中の「居場所」を提供する。	111,830	100,000
2	特定非営利活動法人トータルサポートスマイル	スマイルサロン	一人暮らしで話し相手・相談相手のいない高齢者が多いのではないかと考えた。サロン活動をすることで、一人暮らしに限らず、ひとりぼっちで話し相手のいない高齢者が家に引きこもらず、サロンをコミュニティの場として利用してもらい、外に出る楽しみ、人と話す楽しみを提供する。	155,920	100,000
3	足立子ども組織を育てる会	遊び会の内容を充実させてリーダーを育てる	学校や家庭でストレスを抱えている子どもにとっては、学校・家庭以外の第3の居場所が必要。孤立しがちである故に将来の目標となるような存在を見つけることができず、具体的な将来像を描けていない。小学生が憧れるような中高生リーダーを育てることで、小学生がその姿に具体的な将来像を描けるようにする。遊び会の内容と周知を充実させ、居場所を求めている子どもたちが、より参加できるようにする。	123,000	100,000
4	こども食堂じゃむパントリー	夏休みだよ！こども食堂	生活保護世帯数が増加傾向にあり、こども食堂やフードパントリーも増えている中で、本木エリアにはこども食堂がなかったため、団体活動を実施している。定期的にこども食堂を開催しているが、夏休みなどの長期の休みになると食事が満足にとれないという現実があるため、その間の食事提供を通して、地域との繋がりと安心感を提供する。	107,500	100,000
5	らんたん亭	子供食堂	足立区では子供食堂が多く存在するがそこに参加する多くは幼稚園から小学生が多く、中高生への支援が届いていないと考える。中高生を対象とした子供食堂を実施し、区民中高生の居場所を増やす。居場所としての利用用途を高める為、14:00-20:00までのオープンとし食事だけでなくその場で過ごすことを重視した運用をする。居場所が増えることによる区民中高生の自己認識の前向きさ(自己肯定感)を向上させることを目的とする。	141,300	100,000

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額 (円)	交付予定 額 (円)
6	バーチャル フォトウォーク	思いやりのヒーロー育成青年研修事業	スマートフォンを使い美しい景色をライブ配信し、暖かい会話とともに孤独感を癒し人々の安心に寄与するボランティア活動。生徒学生が参加することにより、障がい・病気等で外出できない生活弱者にふれあう機会を得、コミュニケーション能力やプレゼン力を伸ばすことができる。	138,520	99,000
7	足立区ラグビーフットボール協会	墨東五区少年少女ラグビー交流会	足立区では暮らしの中で「楽しみに気づく」機会のひとつとして、運動スポーツを「する・みる・支える」機会を提供することとしているが、「みる・する」機会が都内平均より低い状況である。ラグビーはワールドカップの開催で衆目を集める競技となったが、「する・みる」機会が少ないことから、ラグビーを軸として、区内における運動・スポーツを「する・みる」裾野を広げ、ラグビーに興味をもつ人々が会することで「支える」人を繋げる契機を生む。	286,000	100,000
8	NPO 法人足立たすけあいワーカーズつみき	放課後ひろばmaruまる	コロナ禍で交流を制限され、コミュニケーションがうまくとれない状況が続いている。人との関わりも減り、つながりを作りにくい保護者が多く孤独な子育てをしている現状がある。子どもたちが認められ、安心して過ごせる場所、気軽に立ち寄れる場所を作り、子どもたちの自ら考え行動することに寄り添う。また、保護者たちの休憩の場、情報交換の場を作り、子育ての手助けとなる場所を作る。	193,598	100,000
9	あだちデザインLABO	職業体験ワークショップ事業	コロナ禍による社会生活上の行動制限により、子どもたちが自分の未来像や価値観を形成しにくい状況となっている。子どもたちがいろいろな仕事を体験する機会を提供することで、社会との関わりや将来設計を思い描くことができるようになる。今回はキッチンカーおしごと体験を通して、顧客に満足してもらおうという成功体験に繋げることで、自己肯定感を醸成する。	176,140	100,000
10	出張キッズスペース mamato	ママもすっきりリフレッシュ	保育士団体である当団体が「子連れヨガ教室」を開催。母親がリフレッシュできる環境を提供すると同時に、育児の悩みなどを気軽にプロに相談できる場をつくることで子育てをより安心して行うことのできる体制を整える。コミュニティ作りの場としても活用できるような働きかけを行い、母親同士の関係作りの場としていく。	115,000	100,000

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額 (円)	交付予定 額 (円)
11	LILA 子どもの学びを支援する会 リエゾン・アダチ	中学生が企画と実践！SDGsを通して考えるまちづくり	足立区は水害に弱いこと、また近年は地震が多いことから、防災に対するさらなる意識の向上と知識の獲得が必要。水害と地震、コロナ禍における避難所について専門家を招き知識を深める。プロジェクトで学んだことを、動画や写真を用い、中学生目線でわかりやすく SNS 等で発信することにより区民に周知する。	123,000	100,000
12	綾瀬サロンほっとミックス	孤立をゼロを目指す！新しい社会様式におけるスマホを活用したコミュニケーション	コロナを機にスマートフォンやオンライン会議など新たなコミュニケーションの場面が増えた。一方でその活用が難しい高齢者が足立区内にも多く、孤立リスクがある。高齢の区民に対し、簡単に操作でき、気軽に使いこなせる様に、わかりやすい内容の講座をテーマ別に2か月に1回程度行う。スマホを活用できるようになることで、情報難民や地域からの孤立を無くし、地域全体の活性化や助け合いを生み出すことを目的とする。	97,520	97,000
13	特定非営利活動法人 Chance For All	ローカルメディア「結一むすびめー」	足立区の親子と地域をつなげることを軸とした企画の策定。具体的には、地域のコミュニティやイベント、地域のために貢献する団体の活動やこども・保護者たちの主張を取り上げる総合情報誌を作成する。従来の情報誌のように社会から区民に情報発信するだけでなく、区民から社会に情報を発信でき、社会と区民の互いの価値観・情報を総合に共有しあえる情報誌となる。	421,850	100,000
14	特定非営利活動法人 たんぽぽ会	無料学習塾たんぽぽ	貧困の連鎖により、こどもの学習面に大きな影響が出ていることが社会的な問題となっている。こうした状況のなかで、少しでも子どもの成長を援助することを目的に子どもを対象に無料塾を開始した。開始にあたって、近隣の小学校や足立区貧困対策課、千住地域担当のSSWに協力を依頼した。内容は宿題を中心とした学習を行っている。	245,160	100,000
15	特定非営利活動法人 たんぽぽ会	いきいき月曜サロン	高齢者の社会的な孤立を防ぎ、認知症の予防とながく健康を維持することを目的に高齢者の居場所（サロン）の提供を行う。毎週月曜日に高齢者を対象に食事の提供と交流の場を提供したが、コロナのためテイクアウト方式で現在は実施。今後は食事会の再開も目指す予定。	1,700,000	100,000

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額 (円)	交付予定 額 (円)
16	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	ヤゴ救出大作戦 2022	足立区で産み付けられたヤゴを育てることで、害虫を捕食するトンボを増やし区内の環境維持につなげる。また、親子が共にヤゴを育てて羽化させる体験を通して、生命の育みや生きる知恵を学びとることができるため、その機会を提供する。区内の2つの公共プールで実施し、清掃前のプールからヤゴを救出し持ち帰って育ててもらう。	150,279	100,000
17	Code for Adachi	足立区の子どもたちのタイピングスキル向上プロジェクト	2021年から足立区の小中学校でパソコンの1人1台配布がスタート。より良い学びのためにはタイピングスキル向上が必須。足立区の子どもたちのタイピングスキル向上のため、足立区在住の子どもが参加できるタイピングのスピードを競い合うコンテストを実施する。	103,870	100,000